

5月

# 広報 しょうわ

平成15年(2003)

No.407

おもな内容

- 新1年生紹介 ..... P2
- 学童クラブ ..... P4
- 市町村合併アンケート結果 ..... P6



5月5日の「こどもの日」に合わせ、第2保育園では年長組がこいのぼりを作成しました。「みんな上手に作れたよ」。(関連記事はP19)

# ピッカピカの1年生

15年度の村内小学校の新1年生は89人（東小25人、南小50人、大河原小14人）。このページでは、そんな1年生の将来の夢を紹介します。

|   |             |   |              |   |              |   |                  |  |                  |   |   |   |             |
|---|-------------|---|--------------|---|--------------|---|------------------|--|------------------|---|---|---|-------------|
|    | いしい<br>かこ   |    | あらき<br>はるふみ  |    | かわだ<br>ななみ   |    | いしい<br>かなえ       | <b>東小学校</b><br>25人   |                  |   |  | なまえ<br>(敬称略)  |             |
| 保母さん  |             | くるまやさん  |              | パンやさん   |              | ピアニスト   |                  | 将来の夢   |                  |   |   |   |             |
|   | しまむら<br>りょう |   | いしい<br>ありか   |   | はやし<br>あゆみ   |   | つのだ<br>なおき       |   | ねぎし<br>なおと       |   | たかし<br>ゆかり  |   | たかし<br>りょうた |
| くるまやさん  |             | 歌手(モーニング娘。)   |              | ピアニスト   |              | サッカー選手  |                  | おまわりさん   |                  | クッキーやさん   |   | ジャイアンツの選手   |             |
|  | かとう<br>りょうた |  | よしの<br>りな    |  | すすき<br>けんたろう |  | とのお<br>みかね<br>かな |  | あおき<br>まゆみ       |  | やまご<br>つばさ  |  | はやし<br>まさと  |
| パイロット   |             | パンやさん   |              | お父さんと同じ仕事   |              | お父さんの店を手伝う  |                  | マンガ家   |                  | 工業の人  |   | サッカー選手  |             |
|  | ことう<br>ゆうせい |  | はやし<br>あゆこ   |  | かねこ<br>たくま   |  | はやし<br>ももか       |  | いしい<br>あゆり       |  | ほり<br>きょうすけ   |  | ひらの<br>なおき  |
| プロ野球選手  |             | かんごふさん  |              | お父さんと同じ仕事   |              | かんごふさん  |                  | はなやさん  |                  | おまわりさん  |   | サッカー選手  |             |
|  | もろた<br>まなぶ  |  | すすき<br>みさと   |  | つつみ<br>めいか   |  | ふるさわ<br>たくや      |  | たけの<br>うち<br>ふみや | <b>南小学校</b><br>50人  |   |   |             |
| 忍者  |             | ケーキやさん  |              | テニスの選手  |              | サッカー選手  |                  | 忍者   |                  |   |   |   |             |
|  | つのだ<br>ゆい   |  | うぶかた<br>りょうた |  | おおの<br>しゅうや  |  | のがみ<br>ゆうすけ      |  | こばやし<br>ちひろ      |  | ましも<br>れな   |  | つのだ<br>よしき  |
| 歌手  |             | おもちゃやさん   |              | 野球の選手   |              | トラックの運転手  |                  | サスケ  |                  | おもちゃやさん   |   | サッカー選手  |             |



|             |          |            |           |               |          |           |          |         |           |          |          |        |           |
|-------------|----------|------------|-----------|---------------|----------|-----------|----------|---------|-----------|----------|----------|--------|-----------|
|             | おせき まこと  |            | なかむら じゅんこ |               | きむら こうすけ |           | ましも みき   |         | ひょうごう かずや |          | はやし なおき  |        | せきがみ きょうじ |
| アバレンジャーのブルー |          | はなやさん      |           | 電車の運転手        |          | ケーキやさん    |          | ラーメンやさん |           | 自衛官      |          | 忍者     |           |
|             | くわばら ゆづま |            | よしの ひろと   |               | まつい りか   |           | しまだ しょうた |         | おおぶち なつき  |          | あべ まなみ   |        | たむら ゆう    |
| コックさん       |          | 忍者         |           | はなやさん         |          | おかしやさん    |          | はなやさん   |           | はなやさん    |          | 野球の選手  |           |
|             | わたぬき たくみ |            | あおき りょう   |               | ふるいち ももこ |           | おおき なおと  |         | ひょうごう みずほ |          | わたぬき まさや |        | むかいだ ゆき   |
| テニスの選手      |          | 歌手         |           | ほんやさん         |          | バスケットの選手  |          | 病院の先生   |           | 空手の選手    |          | ピアノの先生 |           |
|             | ほさか たつき  |            | いしい わたる   |               | あおき かつや  |           | あさみ たけし  |         | ひょうごう きみか |          | あらき るみ   |        | すがの かな    |
| ポケモンマスター    |          | バスケットの選手   |           | ゴミを集める人       |          | 生物学者      |          | お花屋さん   |           | 保母さん     |          | テニスの選手 |           |
|             | つつみ せりな  |            | わたぬき あかり  |               | わたぬき たくや |           | たけうち はるや |         | こいけ えりか   |          | たけうち なおき |        | いづか ちはる   |
| かんごふさん      |          | かんごふさん     |           | サッカー選手        |          | 忍者        |          | はなやさん   |           | 畑の仕事がしたい |          | 美容師    |           |
|             | よしざわ みさき |            | おおたけ りゅうや | <b>大河原小学校</b> |          |           |          |         | なかじま ゆうき  |          | たなかじま ゆう |        | しめぎ つよし   |
| 動物の飼育係      |          | サッカー選手     |           | <b>14人</b>    |          |           |          | 野球の選手   |           | サッカー選手   |          | サッカー選手 |           |
|             | ねぎし ゆうた  |            | すとう たくや   |               | よしだ けんと  |           | おいけ ただし  |         | よしざわ かなり  |          | ほしの ゆうすけ |        | あべ たつき    |
| 動物の飼育係      |          | サスケの番組に出たい |           | サッカー選手        |          | お父さんの跡つぎ  |          | ケーキやさん  |           | 大工さん     |          | ゴルフの選手 |           |
|             | ほさか みう   |            | おたけ くにみつ  |               | おの りま    |           | おの りま    |         | はやし なおき   |          | すがえ ひさみ  |        | ケーキやさん    |
| ケーキやさん      |          | つり名人       |           | 保母さん          |          | ドッチボールの選手 |          | ケーキやさん  |           |          |          |        |           |

「共働きで、放課後は家に誰もいない。子どもたちだけで家に置いておくのはちょっと心配」、「農繁期は家には誰もいなくなっちゃう。誰か子どもたちの面倒をみてくれないかしら」。そんな要望に応えてくれるのが学童クラブ。このページでは、村内2つの学童クラブを紹介します。



# 昭和東 学童クラブ



# 1日からでも預かります

**昭和南学童クラブが  
4月からオープン**

放課後や土曜日・夏休みなどに、安心して小学生を預けられるところ、それが学童クラブです。

昨年4月、村では「昭和東学童クラブ」を、公設民営の学童保育所として、オープンしました。

学童クラブは、村内の小学生を対象に、平日の放課後や土曜日、夏休みなどに子どもたちを預かり、楽しく友達と時間を過ごしてもらおう、そんな施設。子どもたちは学年を問わず、みんな同じ教室で仲良く過ごします。

この1年間、昭和東学童クラブは、東小学校・南小学校・大河原小学校を問わず、村内全域から利用者を受け入れてきました。そんな中では、南小学校で授業を終えてから、東小学校に通い、学童クラブを利用する子どもたちもいました。

そうした中、利用者の父母からは、次のような声も上がっていました。「南小学校区にも学童クラブの設置を」。そんな要望に応え、完成し

たのが「昭和南学童クラブ」です。場所は南小学校の一角。校舎の一部を改築し、今年4月7日から利用開始となりました。



昭和東学童クラブ



昭和南学童クラブ



**利用は1日からでも  
OKです**

「昭和東学童クラブ」も「昭和南学童クラブ」も、利用する時間や料金は同じで



新木冬華ちゃん  
(東小2年・中宿)

「たこ焼きパーティーが楽しかったです。」

学童クラブは、折り紙・人形で遊ぶのが大好き。女の子のお友達もみんな仲良しです。去年みんなでやった「たこ焼きパーティー」はとても楽しかったです。



吉野 秀くん  
(東小2年・生越)

「みんなでする  
かくれんぼが大好き」

去年の夏休みの後から通っています。みんなで遊ぶかくれんぼが大好き。男の子は、サッカーや遊具、ゲームをしてよく遊んでいます。おやつは、パイナップルが好きです。

## 指導員の紹介



昭南学童クラブ  
岡田 順子さん

事故・けがには、十分気をつけて、アットホームな雰囲気にしていきたいと思えます。



昭東学童クラブ  
玉田 美紀さん

みんなが仲良く楽しく過ごせるような、学童クラブにしていきたいと思えます。

対象は、小学1年生～6年生。毎日授業が終わった放課後から午後6時半まで利用できます。また、土曜日や夏休みなどの休日（日曜・祝日・振替休日・盆休み・年末年始を除く）は、午前8時00分～午後6時半までとなっています。

利用は、1日からでもOK。「今日は用事があつて留守なんだけど、ちよつとあずかつてもらえる?」「急な仕事で、家を留守にしようんだけど…」といった場合は、お気軽にご利用ください。

料金は、通年保育の場合、1か月で10,000円（保育料8,000円、おやつ代2,000円）です。また短期的に預けられる場合の保育料は1日400円となっています。口座振替となっています。申請は、役場保健福祉課と



各学童クラブで行います。申請書に必要事項を記入し、手続きをしてください。

季節に合わせた行事を用意しています

子どもたちは放課後、学童クラブの教室に入ると、まず宿題を行います。それが終わると、自由時間です。校庭の遊具で遊ぶ子、教室内で遊ぶ子、子どもたちの思いのままの時間です。

学童クラブでは、季節に合わせた年間行事も行っています。昨年度、昭東学童クラブでは、イチゴ狩りや日帰り旅行、ジャガイモ掘り、リンゴ狩り、クリスマス会などの行事を行ってきました。今年度も年間行事の予定はバツチリ。さあ、どんな催しがあるのかな?



みんなが大好きなおやつ時間

皆さん、お気軽にご利用ください

昨年度、昭東学童クラブを年間ご利用したのは累計で172人。毎月、利用者の増減は多少ありますが、平均すると1か月で14人が利用しています。現在は、通年の利用者が11人です。

一方で昭南学童クラブは、4月で9人が利用しました。通年では5人です。学童クラブでは、子どもたちをいつでも歓迎します。お父さん、お母さん、お気軽に学童クラブを利用してみてはいかがでしょうか。

詳しくは役場保健福祉課  
☎24-5111まで。



長谷川 睦美ちゃん  
(南小2年・永井下)

「学童クラブではボール遊びが一番好き」

去年から通っています。学童クラブはとてもおもしろいです。一番はボール遊びかな。友達ともたまにケンカする時もあるけど、いつも仲が良いです。



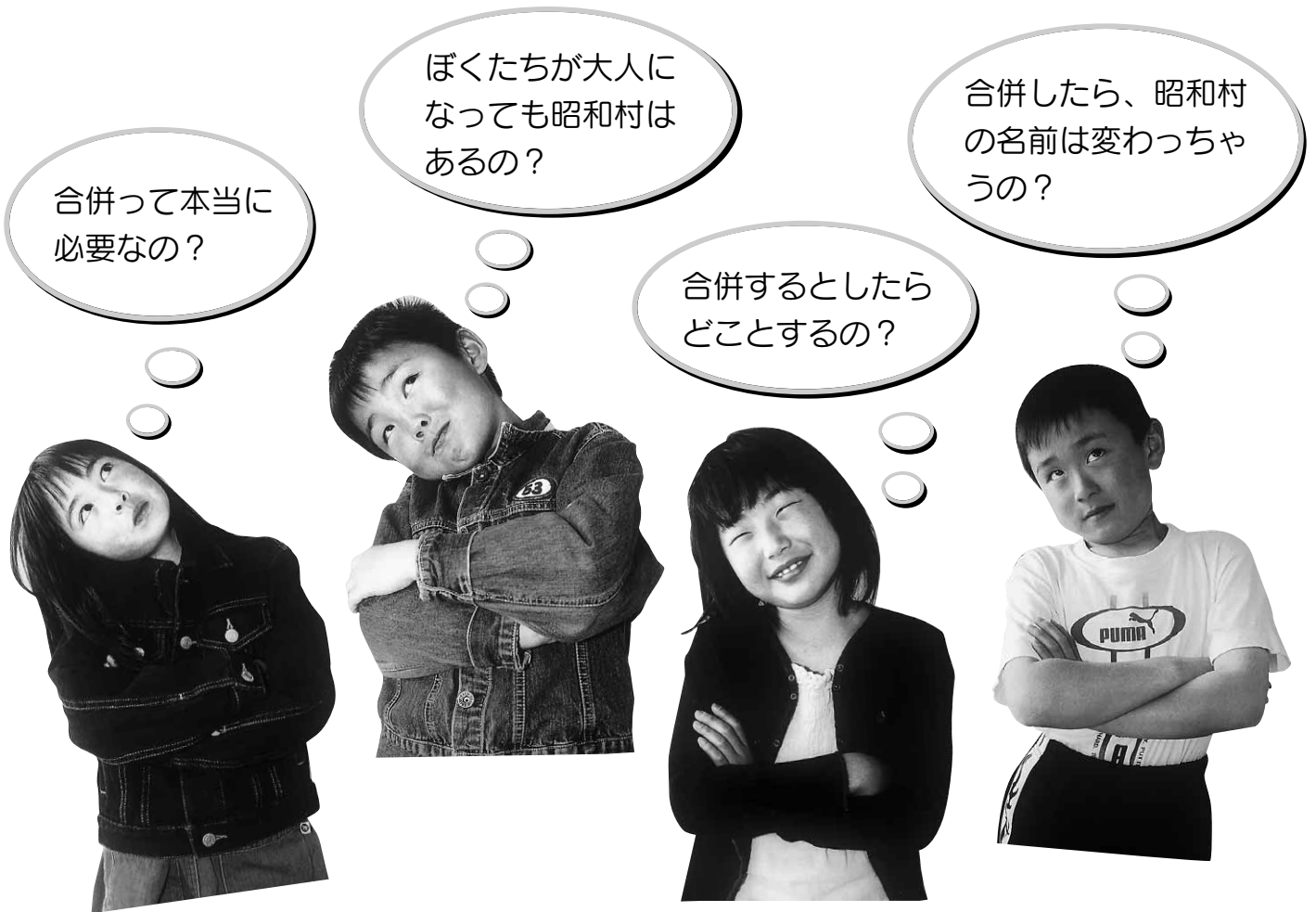
浅見 岳志くん  
(南小1年・鎌沢)

「おやつはイチゴのケーキがおいしかった」

みんながいる学童クラブは、とても楽しいです。本がいっぱいあるので、いつもは本を読んで遊んでいます。おやつはイチゴのケーキがおいしかったですよ。

## 市町村合併アンケート結果

# みなさんからの意見です



●旧久呂保村と旧糸之瀬村が合併したのが、まだ昨日のことのようなのに、またかという感じがする。

●市町村合併は時の流れであり、将来的には合併していくものと思われませんが、アンケートのみでなく、実際に合併問題がヤマ場を迎える場面においては、合併の是非を問う住民投票等を実施し、住民の意見を十分に尊重してほしい。

●国のあり方について、どうこう言っても仕方がない。昭和村が一番よい方向に行く事を望む。いつも泣かされるのは村民である。高齢化社会を生き抜くために、老いた者が安心して生きられる行政を望む。

●今後、村の事業計画ではどのような方向を考えているのか。また、大きな事業がなく、現在の財政で今後も運営できるのであれば、今のままでよいのではないか。

●合併対象は、赤城村と答えたが現在、赤城村と昭和村をつなぐ道路は二つしかない。利根沼田で一つになるのも考えられるが、沼田が主体になり発展の見込がないように思える。病院などは近いほうが良いが。

●合併までには時間がかかると思うが、合併しなくてもこの村だけでやっていけるように議会、村民が一丸となり、できるだけ節約して税金を無駄なく使えるように考えてください。

●合併してもメリットはなく、それよりも単独で苦難を乗り越えてほしい。

●住民との話し合いをもっと多くし、どのようなメリットがあるのか、詳しく文章での報告がほしい。

●合併したとしても、合併後の市町村が活性化する方法が明らかになったり、決定していなければ大きな地域になった分、周辺地域が今以上取り残されそうな感じがする。

●貧乏同士が合併しても豊かにならない。

●社会構造の変化、進行に伴い広域合併はさけて通れないものと考えられる。住民サービスや住民負担が一時的に増減すると思われるが、将来、安定した生活を営むためにも住民の熱意と努力により広域合併に取り組んでいくべきである。

●首長、議員数が減少するので、代表制の後退や政治的対立、きめ細かい行政サービスができにくくなるのではないかと心配してしまう。地方分権は賛成できる部分があるので、住民と話し合いながら合併の論議してほしい。

●安易に合併することは反対である。もっと財政を確保するために案を出し合い議論する必要があるのではないか。合併を第一条件として考えるのではなく、昭和村の立地条件等を十分考慮し、いかにしたら合併しなくてもすむのかということを考えてほしい。現時点では合併論ばかりが先行し、財源確保に向けての議論がされていないように思える。村長、議員、村職員、村民全体で、自分たちが何をしなければいけないのか、知恵を出し合い検討する必要がある。

●県外から昭和村に来た人が身近にいるが、昭和村も大変魅力があると言っている。「利根沼田全体を見てみると、尾瀬があり、谷川、赤城、武尊がそびえ、その間を川が流れる全国的に見てもすばらしい。そして、あちこちにある温泉。その入口に昭和村がある、これを生かさなない手はない」と言っていました。村民、村がそれに気づき、前向きな姿勢で合併を考えるのなら、合併は賛成だし、意見も言いたい。残念ながら期限があつたり、市町村間で合併後の地域活性化、財政再建など、意思統一がなされないまま、あいまいな合併ならしない方がいい。それなら昭和村だけでも十分魅力ある村ができると思う。そして、利根沼田のリーダーにもなれると思います。

●市町村合併の最大のねらいは、財政難への対応ではないでしょうか。議員数を減らすことは、それほど影響ないと思いますが、職員数を減らすことは行政サービスの低下につながるような気がします。現在、人々の活動範囲が拡大しており、行政の広域化も進んでいるので、流れとしては合併の方向になるのではないのでしょうか。

●合併すれば、議員数の多い所に特例債が多く流れ、少ない昭和村は、あとで悔やむ事になりかねない。国の一極集中と同様に、地方も沼田市がうるおうのみと考える。合併しなければ長期的に見て地方交付税の交付金が少なくなり、村の活性化がなくなると言われるが、交付金減額を考える前に、国の財政立直しを地方から上申し国庫金の無駄使いを直す。国家・地方職員削減、公団組織廃止、高級官僚の退職一時金削減、国の財政見直し論議を高め、また、もっと理解しやすい説明を住民にしてほしい。国の考えを正すのが第一義である。

●広報しようわの合併特集号に、合併による中心部有利の内容が記載されていたが、これが最も大きな不安材料であると思う。これをいかに全体（利根沼田）の利益にできるかが、今後の課題である。可能であれば、従来の沼田市在住の市民も、昭和村に住みたいと思えるような施策が展開でき、メリット大であろう。また、昭和村は「農業村」ということだけではない事に再認識する必要がある。目先だけではなく、長期的観点から合併に賛成。

●合併によって増税になり、行政サービスが今より悪くなると思います。特に沼田とは。

●メリットよりデメリットの部分が多いと思います。合併を考える前にどうしたら合併をしなくても昭和村として進んでいけるかを考えるべきだと思います。

●利根沼田の大合併は、絶対反対です。これほどの大きな地域が1つになっても良い事は一つもないはずで、弊害ばかりが予想されます。合併しなければ、この昭和村が死ぬ、潰されるというのであれば、吾妻郡のように2つ、あるいは3つに利根沼田を分けて合併してはいいかなものか。農協が1つになって良い事がありましたか、箱物が増えただけで何も良くならない、かえって農協離れが進みました。農協の二の舞になるのは目に見えています。こんな大合併を村長はじめ村議の方々が進めようとしているのは、私は理解できない。かりに、昭和村だけ合併に参加しない結果になっても、それで、国・県からの補助金が削減されたとしても当然の結果と厳粛に受けとめます。

●合併するにしても、しないにしても、将来どのような村にするのか、きちんとしたビジョンが必要であると思う（農業村としていくとか、観光とか、工業とか方向性を決めた方が良くと思う）。合併するにしても、そのビジョンにのっとり合併の方針が決まるのでは。財政面が一番の問題と思われる。それをクリアし、きちんとした方向性があれば合併する必要がないと思う。しかし、中途半端な考えであれば、何か対応して（合併？）いかなければ村の存続が難しいと思う。アンケートも重要で、基本数値を見て早急に話し合い等意見集約が大切だ。特に、若年層の考えを充分に取り入れてもらいたいと思う。

●財政面を見れば、合併することにより単純に人件費を落とせるからそれは仕方ないし、やらざるを得ないことと思うが、合併しなくてもそれをやればいい。例えば、議員経費を日本一低く抑えろとか。アメリカ・ニューヨークから電車で20～30分位の所にある自治体では、地元議員がすべてボランティア、議会はすべて夜に行なうなどしているという。今の高い給料体系を独自のものに作り直し、真剣に地元自治を自分たちで考え執行することの方が、よっぽどカッコ良い話だ。長野県がやっている。もう一つ、ニュージーランドは、国家的に官僚不腐で国家財政が危機的状況に陥った時があった。当時の運輸省の官（役人）を6,000人からたったの60人に減らし、離せるものはほとんど民間に任せて、その危機を乗り越えたという。一時的にリストラで痛みは伴っただろうが、現在ニュージーランドという国は、世界的にみても財政的にトップクラスの安全度を保っているという。ほかの国の例を見習うことも大切だと思う。個として独立した行政単位が手を取り合って頑張るといふ姿勢を持てば、自治体の結束力はものすごく強化されていくと思う。それらが、横のつながりを持つ努力をしてゆけば、良い関係が構築出来ると思う。もちろん、そのために、村民も自分たちができることは、行政に期待しないで自分たちでやるという独立心と行動力と必要最低限の資金の確保は必要だと思う。民力と官力と企業力で目立つ村にしてほしい（中津江村、上野村のように）。

●国、県は自治体に対してさまざまな甘い言葉をかけ、市町村合併を勧めているが、利根沼田が合併すると中心部に予算が集中し、昭和村は取り残され、行政サービスはもとより、その他のサービスが低下するのは間違いない。たとえ合併しなくても、国は昭和村をつぶすようなことはしないだろう。住民一人ひとりが創意、工夫して頑張れば、明るい未来はあると思います。絶対に合併は反対です。

●合併によって国から補助金が得られると思われる一方、合併しない事から国からの公共団体への補助金が少なくなると思われるので、その分、事務の効率化、職員配置等を考慮して、必要な対策をすべきである。職員数を今の3分の2にすべきである。

●役所が遠くなり不便になるが、良い点はほかの役所の仕事の姿勢も職員がみることができ姿勢を正されると思う。

●合併した場合、自分たちの利用しない所や不必要と思われる事に税金が使われ、住民の負担が多くなるのは心配である。現在、村の行政は、住民の意見を反映されていると思うので、合併は反対です。

●地方分権の時代と言われる。地方に力がなければならぬ。行政にたずさわる人々の意識改革がまず第一。常に研修を行い、登用試験で能力のある人をどんどん引き上げ、やる気を起こさせ、そういう人の力が魅力ある村（町）を作る。地方から国に反映させていけるような、そしてあの村に住んでみたいという人々が出て来たら良いと思う。

●合併して地域が広がれば、文化や伝統はどんどんなくなってしまふかもしれない。今まで団結していろいろなことに取り組んできた住民もバラバラになってしまう。村だからやってこれたこともあると思う。私は、昭和村が大好き、これからも昭和村に住み続けていきたい。



●利根沼田9市町村が1つになってしまうと、あまりにも面積が広がってしまうので反対します。農業と観光がタイアップし、イメージアップという点では、白沢、川場、沼田等との合併も考えられるが、債務の問題を解決してからにしてほしいです。昭和村は、下水道整備もほとんどずんでおり、そういう利点も主張してほしいです。

●合併後も役所のきめ細やかなサービスを強く要求します。なぜなら、市の職員の対応と村の職員の対応の違いを経験しているからです。村の職員の対応のほうがとても親切でいいので人情があります。合併後、これが失われるのはつらいです。今後、役所の窓口の対応の悪い人など、どんどん交代する必要があると思います。今の時代、人材はいくらでもいるのだから、合併後は、利根沼田の職員の中からより優れた人を窓口をお願いしたいと思います。

●合併で良くなることははっきり言ってないと思う。今までの広域合併をすませたほかの地域の様子を聞いても、サービスは低い方に合わせ、負担は高い方に、というのが常識になっています。職員の削減でよいと思うことは、金銭的なことのみ、それをどこに使うか、福祉やサービスには使われないでしょう（職員が少なくなれば、住民サービスは低下します）。昭和村は今のままで十分です。下水道、赤城西麓事業、学校建設、福祉、デイサービス、学童保育、いいところまで来ていると思います。これらを一層独自で発展させられこそすれ、後退させたくありません。政治の中心が沼田市になり、やはり他町村は疎遠になる感じはいなめません。自分が生まれ育ち住んでいる村を真剣に考えてくれる人（議員や職員）が少なくなるのは寂しいことですし、将来のことを考えると不安になります。小さい地域だからこそ隅々まで目配り、気配りもできるでしょう。目先の有利と思えることにとらわれないで、50年、100年先を見ずえて決断を下してほしいと思います。

●最小の合併は、必要だと思う。

●各市町村は、それぞれ異なった地域性をもっており、独自の政策、方向性を打ち出し、改善していく必要がある。各市町村で、早急に効率化を図り、利根沼田全体で考えるべき問題のみ合同で協議し、実施していけばいいと思う。よって基本的に合併に反対。

●日本全体での財政の効率化、税収の減少、人口の減少等を考えたときに、今の区域割は、不効率すぎると考えます。行政は少数精鋭で、公僕としての自覚と本当の住民サービスを考えるべきだと思います。もっと広域で考えれば、職員、議員は現在の半分以下で十分やれます。

●沼田市等大きな地域と合併すると良い。昭和村は自由業（特に農家）が多い。自然が多くあり、のんびりとした所は大好きである。しかし、村の方針としても優遇されすぎていると思う。税金にしる、保育園等の料金にしる、所得を基本として金額が決まるため、大きい農家でも少額しか払わない。沼田市等会社員の多い地域と合併することにより、会社員に対する住民の平等性がとれると思われる。もし、合併しないのなら、税金等に対する考え方を大に見直してほしい。

●助成金お目当ての施設や建物、欲張って必要以上のものなど作らず、当面必要とされることを良く考えた上で、今あるものを大切にリフォーム、修復などし、過保護になるようなことはやめてほしいです。広域圏にあるもの等利用できるものは、それを充実させていくようにしてはいかがでしょう。地域に応じた生活様式や環境は大切にしてほしい。国、県、村の財政が苦しい現在、もっと見直しをしなければならないことがたくさんあるのではないのでしょうか。議員、職員の数を減らすこと（減給すること）はいけませんね。すみずみまで目が届かなくなります。減給分を区長さんや諸団体の役員さんに与え、行政に仲間入りしてもらい、みんなでボランティア精神で住み良い村づくりをしていけば良いのではないのでしょうか。合併は人件費を減らすことではダメ。合併はしないで、各市町村がムダ使いをやめれば良いと思います。

●買い物は沼田を利用するが、合併したいとは思わない。私は今の昭和村で満足している。

●これからの社会変化に対応していくためには、市町村合併は仕方ないことだと思います。ただ、当たり前の話ですが、合併して良かったと思えるようにしてほしいです。簡単に言えば、昭和村の良い点を残して、村民にとって困ることを取り除いていくことです。それには、良い点は何か、困ることは何かを徹底的に議会で討論、研究、学習してほしい。そのための議員だという事を自覚して。

●地方分権、地方自治の精神は、大きな地域を主たる対象に作られたものではなかったのではないか。その地域の住民によってなされる民主主義では、その住民によって決められるということが、もっとも重要である。どうしても、合併したければ村や市町など廃止して県だけでよいのではないか。県も国に対しては地方自治体である事はご承知であろう。

●現在の昭和村が10年後、20年後どうなりたいか、さまざまなことを考え進めていくべきだと思います。また、アンケートは、ただ合併に賛成派か、反対派かと言うようなアンケートではなく、もっとさまざまなデータと予測を持ってみんなに聞いてほしいと思います。そうでなければ本当の村民の意見が出てこないと思います。最終的には、議会で決めるのですが、十分な議論の上でたたき台を作って、住民投票をもって決めていただきたいと思います。

●合併する事により特例法が適用され、交付税の減額が10年間先送りされるが、その後は交付税が同じ金額になるのなら合併しなくても良い。どこの自治体も横並びで同じようにする必要はないと思います。

●近隣の村々とよく話し合い、その結果を公開して改めて村民に問うことを願う。

●年々体が悪くなり合併など難しいことはわかりません。みんなが楽しく暮らしていけるようにお願いします。

●将来の少子化社会を考えると、市町村合併は行政の基盤強化になるのではないだろうか。そのことにより、村長、議員さんが少なくなるのは仕方ないのでは。人の税金で給料をもらっている公務員のあり方を考えるべきだと思うし、お役所様みたいな態度をとる人もいるので、職員の削減なども考えていいのでは。

●まず、基本的な考え方として、市町村は民主主義の基礎単位であることから、行政の効率化の重視から単に数合せではならない。例えば、利根沼田の合併を前提としても、人口が10万人以下では行政の効率化はなかなか効果が上がらないと考えられる。明治、昭和の大合併を経て今日の村としてのまとまりとか、住民意識が醸成されてきており、画一的、一律的さらには、強制的に進めることは、絶対避けるべきである。合併すると交付金が使える事を前面に出すのは、控えたい。合併しない場合は、住民に対してどのような影響があるかを十分理解してもらえる事も重要なポイントと考えられる。

●財政難、就職難、高齢化社会など、これからの時代は、合併しないと取り残されてしまうと思います。特に昭和村は、これといった公共施設がありません。いつまでも村では、駄目です。以前友人に「昭和村に引っ越してこない」と言ったことがあります。返事は「町だったらいいんだけどね」との答えが返ってきました。合併するべきです。目先のことよりもっと先のことを考えた方が良くと思います。

●我が村は、関越高速の「昭和IC」、隣接する農産物直売所「旬菜館」等があるのもっとそれらを活用して地方としての自立をしっかりと考えてもらいたい。「合併特例法」の期限の関係で、目先のことだけにとらわれて合併を急いでいるような思いを感じているのは、私一人だけではないと思うのですが…。

●①他の市町村の財政の失敗（負債）を、比較的ゆわくな昭和村が負担するのはおかしい。今後高齢化して収入が少なくなると、年金など公的な財源がおぼつかない。将来を考えると厳しいのではないかと。②少子化で財源が減少するのに、どういった歯止めをかけるのか、具体的な案を村民に示してほしい（交付金にたよる姿勢ではなくて）。③若い人材が働ける場（魅力的な企業）があれば人口の減少にいくらか、役立つと思う。④農業中心の村なのだから、野菜に付加価値を付けて（工場などで加工する）直接販売するシステムを作る。例えば、インターネットで注文を受けるような。その工場を中心に、保育園とか、遊び場（パーク）、買い物ができるマーケットなど、広い土地を生かした、村が出資した公共的な町（株式会社）が出来るといい。

●地方分権が始まっている今、財政規模を考慮し、村独自でやっていく道を模索すべきだ。どうしても（単独で）やっていけないと思ったら、小さな合併を考えべきだと思います。

●現在、国の政策について、縦割り行政そのもので、上部からの圧力により半強制的に合併が進められている事は大変遺憾に思う。先に言われていた特例債の使用用途についても、方針が変わるなど不透明さが残る。平成17年の期限の約束も真実かは、わからないし、期限延長ともなれば、契約の履行という面でも不安が残る。以上の事を踏まえ、先の見えない国の政策に共感を持つことができない。ましてや、合併後の他町村の多額の隠れ負債においては、均等割という事も考えられ、昭和村にあっては、最良の状況とも思えず、合併に前向きになれない。

●昭和村の場合は、私たちが昭和村を卒業し、やっとなつの村になった気がします。私が今下宿している所は、人口も多く、隣が誰だかわからない状態ですが、村では、自分の地区の人は皆わかります。住基ネットも小さな村では必要がないですね。そんな住民の声が直接届く昭和村が私はいつまでも続いて欲しいです。

●市町村合併をすることによってメリットはあるが、デメリットについても深く考えていく必要がある。特に人口流入が少ないこの村において、合併することの利益がとかく強調されがちであり、財源確保のためにも、得策なのかも知れない。昭和村は自主財源の獲得基盤が弱い。しかし、その点のみで補強するために合併するのは短絡的であろう。もし、合併するのであれば、①アンケートの集計結果を村民に情報公開し、②その結果を基に再びアンケートまたは、村民との対話集会を開く、③一部の村民だけでなく、すべての年齢層から村民をランダムに選出し、意見を聞くなどの段階を経て徐々に進めていくべき。急ぐ必要はまったくない。世論の流れは確実に「合併」へと流れてはいるが、その流れに、ただ流されてはいけない。今後の子供たちの将来にも大きな影響を残す、市町村合併の決断は慎重にするべきである。ただ「昭和村を残したいから」というセンチメンタルな感情で決定するのではなく、本当の戦略的な考えと、理解のもと、考えていくべきである。これから先の村の手腕を期待している。

●合併に反対の人もいると思うけど、私は賛成だ。私は、少子高齢化による人口急減が一番心配だ。子ども、孫の代になったときに合併するよりも、早いうちから合併してさまざまな交流をどんどん深めていくべきだと思う。私たちのころ、4クラスあった昭和村も今は3クラス。このままどんどん子どもが減って、自分の子どもには、いったい何人何クラスなのだろうか、と心配になる。子どもには、やはり大勢の中で学んでほしい。今の昭和村に不便さなどは感じていないし、昭和村で生まれて育って、この村が大好きだけど、今より何年か先のことを考えて、合併した方がいいと思う。「合併しなきゃやっていけない」というような危機になった時にするより、今すべきではないかと思う。“今住みよい村”も大切だと思うけれど、将来をもっと住みよく活気あふれた地域にしていくのが、一番大切なことではないかと思う。子どもたちの時代に、より良い社会を残してあげたいと思う。

●沼田市との合併は大反対です。生活、文化、その他諸々の意識の差が多すぎます。利根村の一部（多那）は、同じ赤城山の北面にあり、昭和村とほとんど同じく農業を中心に生活をしており、この地域との合併がベストだと思います。ぜひ、実現してもらいたい。

●昭和村のような小規模自治体では、不本意であっても合併せざるを得ないと考えます。ただ、将来のビジョンを示す長期総合計画を単にシンクタンクに委託するのではなく、自前の未来像を早急に計画して対応していただきたい。

●合併したところで状況（財政面など）が劇的に変化するとは思えないし、村から町（市）に名称が変わるだけのような気がする。合併を理由に新庁舎建設や多目的施設や資料館など採算のとれない事業が増え、厳しい財政状況になるのでは。

●どれだけの村民が、合併のことについて理解できているのか、疑問ではありませんか。アンケートよりも先に、合併とはどういうものか、高校生以上の人に分かるように具体的な説明があったほうが、アンケートにも良く答えられると思います。私も正直なところ、合併が良いか、悪いかなどはつきり判断できません。合併しなくても地域の活性化を図ることができると思いますが、合併すればもっと活性化に役立つことがあるのでしょうか。合併に反対ではありませんが、不安が多すぎて賛成することはできません。

●昭和村は合併しないで昭和村の良いところを生かして村民皆で力を合わせて昭和村を守っていつてもらいたい。昭和村は楽しいことをいろいろしてきました。これからも子どもたちにふるさとの思い出をつくり続けてほしいと思います。農業で生活ができるよう国、県、村で力を入れてもらいたい。昭和村の野菜、くだもの、食べ物は何でもおいしい物ばかりです。若い人が進んで農業に夢を持てるようにしてほしい。

●昭和村は、地域的な感情差が強いと思うので、合併によってますます地域間の溝が深まってしまわないかと懸念されます。「わがふるさと」と思えるような施策をしてほしいと思います。百年先を見ずして合併について考えてください。

●合併は必要ないと思うが、国の政策のための小規模合併にとどめ、状況を見て最終的に方向を定めたら良い。

●もし、沼田市と合併したとすると、①資産が町を中心に使われてしまう、②農地なども売買自由となり、③若い農業後継者の夢がなくなる、④議員など削減されみんなどの意見が伝わらなくなる、⑤保健福祉などの事業も低下する、と思う。

●市町村が良い方向に発展していくように、いろいろなことを見つめ直す良い機会だと思います。

●合併も一時的には、人口が増加して、活性化したような現象が起こるかもしれない（活性化するかも知れない〈一時的に〉）。これから先の未来を見た時、高齢化がどんどん進み、合併したことにより、すみずみまで手が回らなくなる恐れがある。現在も、少子高齢化で行政のサービスがうまく回っているとはとても思えない。外国の福祉国家といわれているスウェーデンがどのようになって今の状態になったのか、今研究して、現状を見直していかなければならないと思う。その上で、未来を見ても合併が望ましいというのなら、そんなには合併に対して否定はしないです。

●県内で大きな市になって、注目を集めて、観光、商業を発展させる必要があると思う。今は、学校出た後、東京や前橋、高崎へ行く人が多いけど、大きい市になって発展すれば就職先も増え出て行く人も減ると思う。

●市町村合併に伴い、学区の再編なども考えられると思いますが、通学などの行政的対応に期待します。

●将来自分の子どもたちが成人になるに従って、合併は必要となることは間違いないと思う。ただ現在の状態で、財政支援制度についての制限等、具体的な期限を前に出して問うている中で、答えを選べというのは疑問を感じる。国の財政を立て直すという危機感から政府のあせりを感じる。

●現状のままで、地域活性化を図っていけば何とかなるのではないのでしょうか。合併を急いでいるのではないのでしょうか。詳しいことが、まったくわかりません。別に合併をする必要がないと思う。中心部だけ力を入れて、周辺部に力を入れなさそうだから。今までと変わらない方がいいと思います。市町村によっていい所があると思うから。

●合併したら地域経済が活性化する保障はない。住民の声がますます届かなくなるのではないかと不安が出てくる。負担は高い方に合わされるというのが一般的なので絶対反対です。このアンケートの結果、多分、合併反対が多いだろうと思われる。村長さんはじめ議長さん、議員さんは、私たちの村の代表として人なので、昭和村がマイナスにならぬよう真剣に考慮してほしいですね。子、孫の代まで続くことなので、じっくりより良い昭和村をつくることを考えた方がいいと思います。

●合併をする事により、村民一人ひとりの地域に対する意識改革が行われるのではないかと思います。今のままでは、疑問に思わない事でも、他の市町村と比較した時に問題点が浮き彫りになるのではないだろうか。行政、教育などの質の向上を目指す上でも合併は必要だと思う。

●地方自治体の基盤整備という観点から、合併は論議すべき問題。都道府県の役割は縮小させ、市町村と国という二層構造というビジョンを見据え、それに対応するため、将来的に現在の利根沼田市町村単位では能力がないと思われる。ただ、特例法の期限は、意識すべきではなく、ち密な作業を積み重ねてゆくべきである。

●村とは、最小の行政区であり、会社組織だと思います。村長が社長であり、議員は役員です。赤字会社、将来の展望が暗い会社とは、合併しないと思います。自分が経営者になった立場で検討していただきたい。また、アンケートに伴い、合併への経過説明や他町村の経済状況等の説明がもっと周知してからではないと的確な答えはないと思います。具体的資料の配布、回覧等があまりにも少ない。大きく赤字な自治体と合併すれば、数の理論で、議員数、公共事業、公共施設など、今までの行政サービスに問題が生じるのではないかと不安です。

●現在の世の中は、国際的な流れにある。企業も海外に進出しているし、市町村合併はもちろんのこと、県の合併という案も出ていると聞いた。枠の中で考えるのではなく、もっと広域的な見方で新しい発想を求められているのだと思う。今までのやり方では限界がきている。

●村民全体のアンケートを求めるのは時期が早い。説明不足であり、村民も勉強不足である。村長、議員、有識者等も、まず自分の考え方を発言して、参考資料を提供すべきである。合併問題の結果によって、村民の今までの団結が別々の考えを固執して争いなんかにならないようご指導をお願いいたします。

●赤城山の北面に位置する昭和村は、専業農家を中心として保たれている広大な農地を基盤に野菜やこんにやく等の生産基地から成り立っている。従って、これらの条件に見合った地域との合併なら互いに発展させられると思う。過去に農協の合併によって得たものより失ったものの方が大きい。その証しに（生産物の出荷等の）農協離れが急速に進んだ過去があった。合併には十分な配慮をしていただきたい。村民に現在よりすべての面で負担増になるような状況を作ってはならない。

●人が生かされるための合併であってほしい。行政の都合で金がないから合併させる。そんな考えでは、国会議員の資格なし、政府の言いなりになるな。

市町村合併アンケートでは、皆さんからたくさんのお意見をいただきました。今回は、そのなかから合併問題に関係あるものだけを選出、同じ内容の意見等については集約して掲載しました（順不同）。



杭を打ちつける参加者

## 新婚さん10組がサクラを植樹

新婚さんの記念植樹が3月30日、阿祖城跡公園で行われました。

植樹を行ったのは、14年1月1日から12月31日までに入籍した夫妻10組です。夫婦たちは4本のサクラを、2人で力



メッセージは「昭和村最高」



よくしばって

を合わせながら、それぞれ手際よく植樹。植えられたサクラの木には、夫婦でメッセージカードを取り付けました。この後、参加者は昭和の森山荘で、バーベキューをして交流を深めました。この事業は、やさしい村づくりの一環として昨年度から行っているもの。村の木であるサクラを植え付ける作業を通じて、村内の若い夫婦が交流し、親睦を深めるのが目的です。

なお、植えられたサクラの管理は、各夫婦がそれぞれ行うことになっています。

## 望郷ライン沿に公衆トイレ完成

村有林内（赤城原）に新しい公衆トイレが完成しました。

場所は、村道森下・赤城原線と利根沼田望郷ラインが連結する付近です。

このトイレは、県が行う千客万来支援事業の一環として建設されたもの。建設の目的は、昭和ICの供用開始に伴う来村者の増加や、利根沼田望郷ライン完成による観光客の増加を見込んでのもので

す。床面積は32・85㎡で、内部には男子トイレ、女子トイレ、身障者用トイレ



段差のないバリアフリー設計



身障者用トイレも設置

を設置。工期は平成14年11月29日から平成15年3月20日で、総工費は1、327万2、000円。県産の木材を使用した多目的仕様・ユニバーサルデザインとなつていきます。



完成した公衆トイレ

### 区長会長に室田さん

#### 副会長に高橋さん

4月10日に役場会議室で、区長会議が行われ、区長会長に滝久保の室田桑策さん（58歳）、副会長に原上の高橋雅俊さん（63歳）が選出されました。今年一年間、よろしくお願ひします。



区長副会長  
高橋雅俊さん



区長会長  
室田桑策さん

### 役場職員 人事異動

4月10日付で次のとおり職員人事がありました。  
〔退職者〕▼堤元晴（出納室長）。



厳しゆくに行われた式典

## 福祉に貢献した14人を表彰する

平成14年度昭和村福祉大会（主催、村・村社会福祉協議会）が3月24日、村公民館多目的ホールで行われました。大会には、受賞者や関係者ら250人が出席しました。



表彰される受賞者(上・下)



加藤秀光村長は「今後も地域一体となつて、皆さんが住んでみたくなる村づくりを推進していきたい」と式辞。高橋信雄社会福祉協議会長は「今後も皆さんが、村の福祉施設を喜んで利用してもらえよう頑張ります」と述べました。

この後、介護や児童青少年の健全育成に貢献した功労者・団体など、14人・23団体が表彰されました。

この大会は、村の福祉功労者に感謝することと、社会福祉の重要性の再認識を目的に毎年行われているものです。

## 消防団が春の教養訓練を実施

昭和村消防団の春の教養訓練が4月20日に行われました。

この日はあいにくの雨のため、多目的屋内運動場を主会場に実施。午前中の部隊訓練では利根沼田広域中央消防署の職員の指導のもと、団員たちがきびきびとした動作で取り組みました。

午後のポンプ操法は、小型ポンプを使って実施し、熱心に学習していました。

また、新入団員20人も村公民館で、敬礼や行進など積極的に、練習に励んでいました。



熱心に学習する団員たち



きびきびとした動きを披露



午後に行われたポンプ操法

公民館長に竹内さん

公民館副館長に竹之内さん

このほど村公民館長に竹内惣兵衛さん（宮貝戸・66歳）が、公民館副館長に竹之内みち江さん（吹張・66歳）が就任しました。



公民館長

竹内惣兵衛さん



公民館副館長

竹之内みち江さん

選挙管理委員に

小池さんと尾池さん

村選挙管理委員に小池政弘さん（松の木平第一）と尾池忠夫さん（赤谷）が就任しました。

親から子へ  
子から親へ

今は夏の大会を目指して、野球の練習に頑張ってる。それと、これからもこのまま素直で強い子に育ててほしいな。

もう少し仕事から早く帰ってきてほしいな。それと、体に気をつけて、飲み過ぎには注意してね。

滝久保 竹澤 和夫さん (38歳)  
優太くん (11歳)



♠ いつも優しいお父さん。仕事で忙しいのに、休日にはよく一緒にキャッチボールをしてくれます。野球の大会には、よく応援に来てくれます。(子から)

♠ 元気で活発な、優しい子です。東小の少年野球に入っていて、今はファーストで4番で頑張っています。水泳も得意で去年の村内の水泳大会では、クロールで優勝しました。(親から)

# 交流ひろば

新婚さん、金婚を迎えたご夫妻の登場者を募集しています。自薦・他薦は問いません。皆さんどしどしご応募ください。【問い合わせ】役場企画課広報統計係 ☎24-5111 (内線32)

二人三脚で  
50年

49年間で、関上商店、昭和会館、関上ストアと経営した2人。「昔、下駄を売っていたから、下駄屋って呼ばれるんです。もう屋号みたいになっちゃいましたね」と昭さん。「森下に役場があった時は、何かという昭和会館を宴会場に使用してもらったもの。結婚式をやったこともあったんですよ」。せいさんは「苦労ばかりでしたが、ちょうど高度成長期で、村の皆さんには、たくさん使ってもらいありがとうございました」。

「そんな商売も、平成13年度をもって廃業。現在はそれぞれの趣味を楽しんでいるとか。昭さんの趣味は5、6年前に始めた陶芸。焼き上がった作品は、世界に一つしかないもの。自分で思うようにできた時はうれいすね」と昭さん。一方、せいさんの趣味は踊り。始めてから30年ちかく経つので、「仲間との交流が一番の楽しみ」とせいさん。れんげ会に入って楽しんでいるそうです。

## 「もう一度ドイツへ」



関上 昭さん(74歳)・森下 せいさん(71歳)  
(昭和28年10月20日入籍)



# さわやがカッフル

## 「健康で明るい家庭を」



荒木克博さん(30歳)・上内出(井)美紀さん(30歳)  
(平成14年12月7日入籍)

2人の出会いは昨年の3月、飲み会の席でした。「目の大きな子」(克博さん)、「静かで落ち着いた人」(美紀さん)がお互いの第一印象。それから1か月後、克博さんからのアプローチで、お付き合いが始まったそうです。

現在、克博さんは(株)関東陸送に勤務。「安全第一」をモットーに、製造課の物流係として忙しい毎日を送っています。一方、沼田市出身の美紀さんは、沼田市勤労青少年ホームに勤務していました。現在は主婦業に専念。料理に励んでいるそうです。

スバゲッティとカレーが得意だとか。克博さんは「ひき肉とタマネギのカレーがおすすです」とニコニコ。

新婚旅行は昨年12月に行った3泊4日のサイパン旅行。「ホテルのアドバイザーが親切で、とても楽しかったです。海に潜って見る魚は、とてもきれいでした」。

家族設計については「男2人、女2人」と4人の子どもを希望する2人。

「将来はみんな健康で明るい家庭を築きたいですね」とさわやかに語ってくれました。

## ちっちゃなこてん

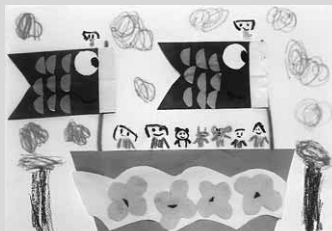
保育園児の作品で～す



おかあさん  
「いつもいっぱい遊んでくれる大好きなお母さん」。



たかはし りょうくん  
(第1保・5歳)



こいのぼり  
「こいのぼりの気球に乗って、いろいろな所に行きたいな」。



かとう まみちゃん  
(第1保・5歳)

## きちげえの里

昨年、鞆帯を切って入院している私の所にお見舞いに来てくれたTとH。変なおもちゃと『こはんですよ』と牛乳を持ってきた。そして私の左足の装具に「きちげえの里 総本部 T」「板戸支部 H」と書いていった2人。それから村民が来るたびに支部名を変えて、みんなが書いていった。それがきっかけ(つ)なのか村民バレー大会のチーム名は、『きちげえの里』に決定!! 全員お揃いのTシャツが作りたくて、あるお店に頼んだら「きちげえの里って所ができたんですか?」なんて聞かれて、なかなか恥ずかしい思いをしながらも、当日は全員きちげえTシャツを着て、いざ試合!! 結果は残念ながら、2チームとも予選敗退。ほぼみんな23歳だったのに、日ごろの運動不足のせいかな、2試合でヘトヘトになり、次の日には筋肉痛(2日後の人も...)。

結婚して離れた所に住んでいる友達も、「みんなに会いたいたいから」とわざわざ来てくれたりして、ちょっとした同窓会みたいになるこのイベントにこれからもみんな参加していけたらと思います。

◇◇◇◇◇  
それでは総本部長、次よろしく!!

◇◇◇◇◇  
次回の登場者は、高野悟さん(24歳・鎌沢)です。



倉澤留美さん  
(根岸・23歳)

はっらっ  
トーク

## 疎開先のお寺を訪問



来村した皆さん

「戦争時下の疎開先を訪問したい」。

板橋区の志村第五国民（当時）の学校出身者が、3月30日に役場や疎開先のお寺を訪問しました。

来村したのは、昭和20年に小学生として学童疎開していた人や現在のPTA役員らの35人。大型バスで来村し、太平洋戦争時、疎開先であった糸井の清雲寺と貝野瀬の川龍寺を訪れました。

当時、男の子78人が川龍寺、女の子52人が清雲寺で、およそ4か月農家の手伝いをしながら生活していたとか。

訪れた人の中には、58年ぶりの来村となる人もあり、しみじみと境内を歩きながら、当時は懐かしがっていました。また、旧友の家を訪れる人もあり、久しぶりの再会に顔をほころばせていました。

## 114人が来村



研修生と受入農家との自己紹介

海外農業研修生歓迎会が4月3日、赤城林間学園で行われました。

出席したのは、中国吉林省からの研修生と各受け入れ農家、関係者らおよそ197人。

国際農業交流協議会の石井啓二会長は「ようこそ昭和村へ。皆さんは昭和村の農業にとってなくてはならない存在です。事故・けがに気をつけて目配り・気配りで8か月間頑張ってください」とあいさつを述べました。

この後、研修生は受け入れ農家と自己紹介。13の宿舎ごとに研修生の名前がそれぞれ呼ばれました。

今年度の研修生は114人。野菜部門は11月、畜産部門は来年の1月まで、研修を行います。

## ゴルフ場1万5,000人目達成

昭和の森ゴルフ場の利用者が4月16日、1万5,000人に達しました。

記念すべき1万5,000人目は、渋川市在住の須田富雄さん（47歳）。この日は、会社の友人とともにプレーに来た

そうで「とてもラッキー。これでゲンを担いで、今年はベストスコアを出したいですね」と喜びを語っていました。

須田さんには、高橋助役より記念品とバラの花束が贈られました。



花束を受けとった須田さん(左)

## スポーツ&トピックス

# PICK UP Sports & Topics

### 七曲赤谷線完成で植えたサクラが満開に



ドライバーの目を楽しませた満開のサクラ

南内出の高橋三男さん宅のサクラが4月20日ごろ満開となりました。

このサクラは、昭和53年に村道七曲赤谷線の開通に伴い、高橋さんが記念植樹したもの。道沿いに3本のサクラを植え、23年が経過した現在では、みごとな大木になっています。高橋さんは「わざわざ花見に出かけなくても、畑仕事に行く途中に花見ができていいんじゃないでしょうか」と話していました。



高橋三男さん

### 第3分団にポンプ車



納車式

このほど第3分団の消防車が新しくなりました。

この消防車は、小型動力ポンプ付積載車で、全日本消防人共済会より無償で提供されたもの。整備後、4月6日に役場で納車式が行われ、分団に渡されました。

### 保育園児のこいのぼり飾る



こいのぼりに見入る来館者

村総合福祉センター「昭和の湯」では4月29日から5月5日にかけて、村内の保育園児が作成したこいのぼりを館内に展示しました。

これは5月5日の「こどもの日」にちなんで行ったもの。村内の保育園（第1保、第2保、子育て保）の年長組がそれぞれこいのぼりを作成し、70人の作品が展示されました。

場所は、入り口を入ってすぐの廊下。およそ25メートルにわたり、色とりどりのこいのぼりが宙を舞い、来館者たちの目を楽しませていました。

# みんなのオアシス

村へのご意見や皆さんの身近で起こったことなど、お気軽にご応募ください。宛先は、役場企画課広報統計係「みんなのオアシス」です。お便りお待ちしております。

「ちっちゃなこてんにについて」

**Q** ちっちゃなこてんに同じ保育園のお友達がついて、子どもが喜んでいました。大好きなようです。もつと多くのお友達が出られればいいと思います。本人は出ることなく卒業となりました。

(Kちゃんのお母さんより)

ちっちゃなこてんにのる作品は、保育園にいる子どもが全員出品されるのですか。全員出されるのならよいのですが、出されるのが一部だとすると作品が出なかつた子どもは、がっかりすると思うのです。

(Mちゃんのお母さんより)

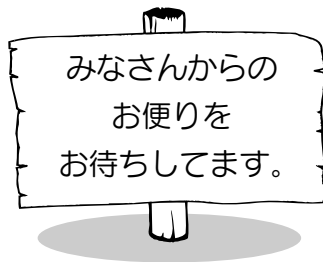
**A** ちっちゃなこてんは、3つの保育園（第一保・第二保・子育保）から毎月、順番

に2人ずつ園児の作品を紹介し

ています。この作品ですが、各保育園の年長組に、テーマを決めて作ってもらい、その中から選考して、掲載しています。選考は、①テーマに合ったもの、②頑張ったと思われるもの、③個性的なもの、がおもな基準で保育園と役場企画課とで行っています。

どうぞご理解ください。

(企画課広報統計係)



## ホトトギス

### 歳時記

ホトトギスは翼長が16cmほどで、背は暗褐色。胸や腹には白地に黒の横縞模様があります。鋭い迫力のある鳴き声特徴。「てっぺんかけたか」、「ほつちよんかけたか」などと聞こえるそうです。5月〜6月に中国南部から飛来して繁殖し、8月〜9月には南に帰る渡り鳥です。

日本滞在中は里山から低山地の林に住み着くことが多いのですが、声を頼りに探しても木に止まっているときだけでなく、飛びながら鳴くこともあります。

ホトトギスは卵をほかの鳥に育てさせます。ウグイスの巣に卵を産み、ホトトギスの雛は養親のウグイスが持ち帰る餌で育ちます。

鳥とは別に、ホトトギスという植物もあります。これは花びらの模様がホトトギスの胸毛に似ているために名前が付いたようです。

皆さん、ぜひご利用ください

## 第1・3土曜は図書室へ

| 期 日      | 時 間        | 図書室の特集 |
|----------|------------|--------|
| 5月17日(土) | 午前10時～午後2時 | 尾 瀬    |
| 6月 7日(土) | 〃          | ファンタジー |
| 21日(土)   | 〃          | 〃      |

■内容 図書の貸し出し、紙芝居など

■問い合わせ 村教育委員会事務局 ☎24-5120



いっしょに、ねっ。

# FM OZE

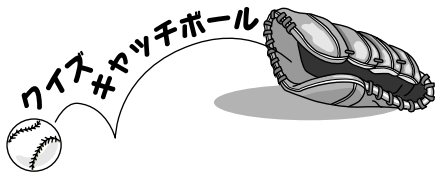
## 76.5 MHz

### 村のお知らせを放送

FMOZEでは、毎週土曜日、午前9時50分から昭和村のニュースを流しています。

なお、日曜日の同じ時間にも当分の期間、放送します。

皆さん、聞いてね!!



■もんだい

今月は、学童クラブについて掲載しました。1日からでも利用できるなんて、ちょっとした用事ができたときには便利ですよね。

では、問題です。学童クラブは昭和東・昭和南とありますが、1か月の利用料は、いくらになるでしょうか。

応募規定

▶村に住んでいる人・勤めている人ならどなたでも応募できます。▶賞品＝正解者の中から5人に図書券1,000円分を差し上げます。▶締め切り＝6月6日(金)。▶発表＝6月号「広報しょうわ」。▶答えは必ずハガキに書き、下記要領で応募してください。

|                                     |
|-------------------------------------|
| こたえ                                 |
| 住所(行政区も)                            |
| 氏名・年齢                               |
| TEL                                 |
| 投稿欄…広報でとりあげてほしいことや気がついたことなど書いてください。 |

|    |            |
|----|------------|
| 切手 | 37911298   |
|    | 昭和村大字糸井三八八 |
|    | 昭和村役場      |
|    | 企画課        |
|    | 広報統計係      |

▷4月号のクイズの答えは、「地方交付税」でした。応募総数は4通。当選者は次のとおりです(敬称略)。おめでとうございます。

- ★唐澤和子(42歳) 赤城原第2
- ★真下亜美(7歳) 森下下
- ★石井宏祐(13歳) 中宿
- ★倉澤友弥(12歳) 根岸

わたしもillustrator

皆さんからのイラストをお待ちしています。



◀▶ 鴛琉寿



いきいきサークル

14

「チームを作って気軽に来て」



昭和村  
インディアカ協会

代表/綿貫誠治

平成13年に、愛好者がインディアカの普及を目的に設立したサークル。毎月第1・3金曜日の午後8時に各チームが集まり、南小学校の体育館で対戦しています。現在は、6、7チームが練習に参加。毎年行われるインディアカ大会では、ほとんどのチームが上位入賞しているそうです。「1チームが4人(男2人・女2人)なので、仲間でチームを作って、練習日に体育館に気軽に来ていただければ」と綿貫さん。皆さんも練習に参加してみたいかがですか。

広報文芸

俳句

里の香を乗せて車中の路のとう

杉木 哲一

初燕見て良き日だと妻が言ふ

林 厚一

一村はなだらかに萌え初燕

狩野 亀男

燕来て老の心もときめきぬ

金井 糸子

つばくらの宙返りして陽をは

ねし

小林 仁作

巢つばめに窓明けておき野良  
仕事

佐藤 志津

土間の梁土古巢見上げてつばめ  
待つ

金井しげの

散歩道たんぼの花孫の手に

藤井三代子

人影の来るとも見へて陽炎へり

真下 章子

短歌

子の昇任載る新聞を父母に供  
へ妻も手を合す新年度の朝

新木 武治

おしめりにほどよく降りし春の

雨葱の葉入く花芽を持ちきぬ

金井 松枝

親指にも似し白き芽を持つつ

どの苗作りをり人みな鈍使い

金井 糸子

黒々と湯気立つ畑に薯植へん

一と足半の間隔をきて

新木 たき

監督として全国大会へ行く吾

昭和 一桁

子の小さき記事を丁寧に切る

阿部トシ子

存在を誇示せる如く山桜咲き

盛りをり暮れても明く

諸田 義幸

車椅子押し来る娘に遠き日の

母と吾とを見る思ひせり

高橋 洋子

石垣の温もり受けて一枝の桜

一足先に咲き初む

高橋 俣八

今宵はと思いし君に触れもせ

で幾夜わかれし半世紀前

## 村のお知らせ

役場 電話 24-5111  
 教育委員会 電話 24-5120  
 公民館 電話 //

### 異物は絶対に

流さないでください

上下水道課 内線38

農業集落排水事業では、流してはいけないものがマンホールポンプや污水处理施設に流れ込んでいます。なかでも多いのが野菜の切りくずです。

污水处理施設はみんなの財産です。大切に使うためにも、次のものは絶対に流さないでください。

**絶対に流してはいけないもの**

…農薬、農薬器具の洗浄剤、石油類、大量の食用油、家畜のふん尿、衛生用品、生理用品、石、木片、プラスチック、

生ごみ、雨水、たばこの吸い殻。

### 糸井三ツ谷地区は

早めにつなぎ込みを

上下水道課 内線38

農業集落排水事業では宅内工事・公共マスまでのつなぎ込みをした世帯に対して、加入奨励金3万円を交付しています。

この奨励金ですが、糸井三

ツ谷地区では6月30日まで、昭和南地区では16年3月31日までに宅内工事をしないと交付されません。

対象地区で工事を済ませていない皆さんは、お早めにつなぎ込みをお願いします。

### 身体障害者の巡回

指導を行います

保健福祉課 内線25

18歳以上の身体障害者手帳を持っている人が、補装用具などを必要とする場合には、県心身障害者福祉センターの判定が必要です。判定、または相談を必要とする場合には、必ずお問い合わせください

い。巡回指導には予約が必要です。

■日時 6月9日(月)、午前10時～12時

■会場 沼田市保健福祉センター

■相談の内容 身体障害者の補装具の判定、相談等(判定の実施科目は整形外科です)

■在宅訪問 重度の障害のため、会場に来ることができない場合は自宅での訪問相談もできます。

■持参するもの 身体障害者手帳、印鑑

■予約 役場保健福祉課までご連絡ください。

犬の登録と狂犬病予防注射を実施します

住民課 内線22

生後3か月以上の犬は、必ず受けさせてください。

登録済みの犬の場合、個々にハガキが送付されています。当日はハガキと愛犬パスポートを必ず持参してください。

■期日 6月23日(月)

■時間・場所 午前9時～9時40分・地域活性化センター

1、午前10時～10時40分・保

## 胃ガン・大腸ガン検診

胃ガン・大腸ガン検診を行います。対象者は必ず受診してください。

■対象者 40歳以上(昭和39年4月1日以前に生まれた人)で、村の検診に申し込んだ人。

■注意事項 ①検診の前夜8時以降は飲んだり、食べたり絶対しないこと、②検診当日はたばこを吸わないでください、③腹部を締めつけない服装で、下着類は金具のない物を着用してきてください、④問診票は必ず記入して、持参してください、⑤健康手帳を持参してください。

■受付時間 午前8:00～10:00 (6/9永井・6/17生越は午前8:00～9:30)

■検診料 無料

■その他 問診票がない場合は、問い合わせください。

■問い合わせ 保健福祉課 ☎24-5111 (内線25)

| 期日      | 場所            | 地区名                  |
|---------|---------------|----------------------|
| 6/3(火)  | 保健センター        | 宿、吹張                 |
| 6/5(木)  | 堤商店集出荷所       | 入原                   |
| 6/6(金)  | 大河原住民センター     | 中野、長者久保、大河原          |
| 6/9(月)  | 永井住民センター      | 永井                   |
| 6/10(火) | 赤城原区民館        | 赤城原、松ノ木平             |
| 6/12(木) | 地域活性化センター     | 上組、中組、下宿             |
| 6/13(金) | 貝野瀬農業構造改善センター | 田岸、大堀                |
| 6/16(月) | 川額集落センター      | 川額                   |
| 6/17(火) | 生越住民センター      | 生越                   |
| 6/20(金) | 追分住民センター      | 追分、赤谷                |
| 6/30(月) | 地域活性化センター     | 鎌沢、入沢、栃久保            |
| 7/1(火)  | 貝野瀬農業構造改善センター | 滝久保、池原               |
| 7/3(木)  | 地域活性化センター     | ほかで受けなかった人           |
| 7/7(月)  | 保健センター        | 中宿、中内出、常木、滝寺、南内出、上内出 |

村公民館図書室の本を紹介します。  
一読してみてください。

このほかにも、たくさんの楽しい本が皆さんを待っています。月曜日～金曜日（午前8時30分～午後6時）は図書室へどうぞ。

## 「宮本武蔵」

三笠書房

著書 童門冬二



# BOOKS

宮本武蔵は、決して超人ではなかった。時代にとり残されることなく、自分の生き方を貫いた武蔵の生涯をたどる。



## 「ビジネス・ウエポン」

小学館

著者 大前研一

21世紀の荒波を乗り切っていくには、今すぐこのビジネス・ウエポンを身につけることが必要だ。

## 「宮崎アニメの不思議。」

著者 井坂十蔵

21世紀BOX



宮崎駿&スタジオジブリの名作アニメを徹底研究。人気映画「千と千尋の神隠し」、「猫の恩返し」の謎にせまります。



## 「ダンボ」

講談社

著者 三石宏文

ある日、サーカス団に小さなゾウの赤ちゃんが送られてきました。そのゾウは耳の大きなゾウ。名前はダンボです。この続きは読んでのお楽しみ。

健康センター、午前11時～11時40分・赤谷住民センター

■費用 登録済み3、300円、新規登録6、400円

■注意事項 ◎つり銭のいないようにお金を用意してください。◎未登録・未注射・放し飼い・捨て犬は違法です。◎犬は制御できる人が連れてきてください。

献血を6/20(金)に行きます

住民課 内線22

献血を6月20日(金)に村内2か所で行います。

■場所・時間 JA久呂保支所は午前10時～11時30分まで。役場は午後1時～3時まで。

|     |            |          |          |         |          |           |          |            |         |          |          |     |
|-----|------------|----------|----------|---------|----------|-----------|----------|------------|---------|----------|----------|-----|
| 3月分 | 4月分        | 5月分      | 6月分      | 7月分     | 8月分      | 9月分       | 10月分     | 11月分       | 12月分    | 1月分      | 2月分      | 3月分 |
| "   | 15年6月2日(月) | "        | "        | "       | "        | "         | "        | 16年1月5日(月) | "       | "        | "        | "   |
| "   | 4月30日(金)   | 6月30日(月) | 7月31日(木) | 9月1日(月) | 9月30日(火) | 10月31日(金) | 12月1日(月) | 2月2日(月)    | 3月1日(月) | 3月31日(水) | 4月30日(金) |     |

平成15年度の国民年金保険料の納付期限は次のとおりです。

納付期限までに納めましょう

国民年金保険料は



保険料の「免除申請の提出時期」と「免除期間」の変更

国民年金には、所得が少なく、保険料を納付することが困難な場合に、一定の基準により保険料の納付が免除される制度があります。

免除申請すると、本人、配偶者および世帯主の前年の所得を基準に審査が行われ、認められると国民年金保険料の全額または半額の納付が免除されます。

これまで、4月から翌年3月までであった免除期間が、昨年7月から翌年6月までに変更されています。

現在、免除を受けている人で、引き続き納付が困難な場合は、7月に免除申請をしてください。

## 廃ポリ回収日

- 場所 久呂保蒔蒔荒粉加工所
- 回収時間 午前9時～午後4時（昼休みは除く）
- 費用 1\*あたり40円
- 注意事項 専用袋による搬出では、機械巻きを含め20\*詰めを厳守してください。コンテナ出荷については重量を計量します。コンテナは当日利用される人のみ貸し出します。

なお、15年度の廃ビニールの回収は、7月中旬と12月中旬を予定しています（農事組合によるとりまとめ）。

| 回 収 日           |
|-----------------|
| 5 / 20(火)       |
| 6 / 5(木)・20(金)  |
| 7 / 8(火)・18(金)  |
| 8 / 6(水)・20(水)  |
| 9 / 5(金)・19(金)  |
| 10 / 7(火)・21(火) |
| 11 / 5(水)・20(木) |
| 12 / 10(水)      |

# くらしの 情報

広く村民の皆さんに呼びかけたいことがあります。たら、このページをご利用ください。

## 催しもの

### 県行政主要施策説明会 及び意見交換会

#### ◆群馬県教育委員会

県教育委員会の平成15年度教育予算や主要施策の説明会、また皆さんの意見に答える意見交換会を開催します。

■期日 5月23日(金)

■時間 午後1時～(受付は12時30分)

■場所 沼田合同庁舎2階

■対象 一般県民

■申し込み 5月16日(金)

までに利根教育事務所(沼田市東原新町1801)に FAX23-01800で。

## お知らせ

### 一日暴力無料相談所を 開設します

#### ◆(財)群馬県暴力追放県民会議

暴力団(員)に関するすべての問題についての相談を受け付けます。

相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

▼日時 6月3日(火)、午後1時～4時

▼会場 前橋市中央公民館

▼相談員 弁護士、警察本部・前橋警察署員、群馬県

暴力追放県民会議相談員

▼その他 当日は電話による相談も受け付けます。特

設電話番号 ☎027-22

3-03006

▼問い合わせ (財)群馬県暴力追放県民会議 ☎02

7-254-0808

### 6月1日～10日までは 電波利用保護旬間です

#### ◆関東総合通信局

総務省では、携帯電話、消防・救急無線、テレビ・ラジオなどの、電波の利用

■問い合わせ 同事務所 ☎23-0165

を保護する活動を行っています。

社会生活を脅かす不法な電波をなくすため、電波はルールを守って正しく使いましよ。

▼不法無線局による混信・妨害 ☎03-5562-7555

### 大麻・けしの撲滅に ご協力を

#### ◆県薬務課

大麻は、かつて日本でも広く栽培されていた「アサ」のことです。大麻は、精神障害を引き起こす成分が含まれているため、栽培が規制されています。

一方、ケシは「ヒナゲシ」や「オノゲシ」のように植えてもよい種類もありますが、麻薬の原料となる成分が含まれているため、栽培が禁止されているものがあります。

昨年、県内では不正栽培の大麻が56本、栽培が禁止されているケシが14、655本、発見されています。不正に栽培されている大麻や疑わしいケシを発見した時は、最寄りの保健福祉事務所や警察署まで連絡してください。

## 参

## 加者募集!!

## 第27回歩け歩け運動大会

■期 日 6月8日(日)

■会 場 野反湖(六合村)

■集合時間 午前7時

■集合場所 昭和村役場

■参加資格 小学生以上の村内在住者・村内勤務者(小学生は保護者同伴)

■持ち物 弁当、飲料水、雨具、ゴミ袋など

■募集定員 100人(申込者多数の場合は抽選)

■申込方法 村教育委員会に電話、または直接申し込みください。

■申込期限 5月29日(木)、午後5時15分まで

■その他 大会当日が荒天の場合は中止(午前6時20分ごろオフトーク放送します)。抽選からもれた方には、6月2日(月)までに電話連絡します。

■問い合わせ 村教育委員会事務局 ☎24-5120





## 特設人権相談所

家庭内や隣近所のもめごとなどでお悩みの方は、ご相談ください。村人権擁護委員が相談に応じます。

◆日時：6月9日（月）、午前10時～午後3時、◆会場：役場会議室。

## 健康相談

高血圧や糖尿病などでお悩みの人は、ご相談ください。役場保健師が相談を受けます。◆日時：5月29日（木）、午後1時～4時、◆場所：村保健センター ☎24-5142。

## こころの健康相談

「眠れない」、「イライラして落ちつかない」など、心に悩みを持つ人はご相談ください。専門家が相談に応じます。◆日時：6月6日（金）、午後1時30分～（事前に電話予約を）、◆会場：沼田保健福祉事務所 ☎23-2185。

## 暴力電話相談

パートナーからの暴力などで悩んでいる女性のための電話相談です。相談には、性暴力問題群馬弁護士ネットワークの専門家が応じます。◆日時：平日午前10時～12時 ◆相談専用電話 ☎027-226-2905。

## 交通事故相談

自動車損害賠償責任保険・任意自動車保険請求の無料相談を行っています。◆日時：平日午前9時30分～正午、午後1時～4時30分 ◆前橋自動車保険請求相談センター ☎027-223-2316。

## 今・月・の・納・期

軽自動車税全期、固定資産税1期、下水道使用料1期は、6月2日（月）が納期です。完納にご協力ください。

4月1日より変わりました

# 村税等の納付書と送達方法が変わります

納付書は長年、納税組織を通じ、毎期ごとに配布及び収納してまいりました。しかしながら、秘密保持および確実な送達方法を考慮した結果、平成15年度分から、村税等の納付書を納税者個人に一括郵送し、個人で納付していただくように変更いたしました。

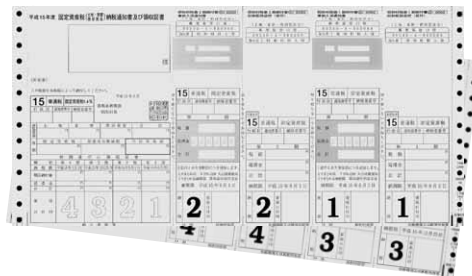
これに伴いまして、各自がスムーズな納付ができるように納付場所の範囲を広げたことで、納付書の様式も変わりました。納付場所は各納付書の書面に記してあります。

毎期ごとの納付には、1枚目、2枚目、税目によっては3枚目をとめてありますので、はなさないように保管し、そのまま納付場所に提出して領収印をいただいでください。

なお納期限は、税目で異なります。納付書の納期を確認し、納め忘れがないように注意してください。

また、村では口座振替をすすめています。納税のわずらわしさもなくなり大変便利です。ぜひご利用ください。申請用紙は役場税務課にあります。

詳しくは役場税務課 ☎24-5111（内線19）までお問い合わせください。



おまわりさんからのお知らせ



## 悪徳商法にご注意を

高齢者を会場に集め高額な商品を購入させる「催眠商法」や、消防署・郵便局・NTTなど官公署等の名前をかたり商品売りつける「かたり商法」など、悪徳商法を未然に防ぐためにも次のことを守りましょう。

○見知らぬ業者を敷地内に立ち入らせない、○「必ず儲かる」などのうたい文句に騙されない、○不要な契約や不当な代金の請求ははっきり断る。○インターネットや電話での購入時は、代金を前払いしない。